

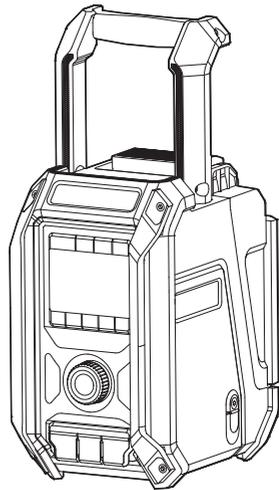
Makita

取扱説明書

充電式ラジオ

モデル MR113

 **Bluetooth®**



このたびは**充電式ラジオ**をお買い上げ賜
わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本製品の性能を十分ご理
解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安
全に能率よくお使いくださ
るようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全に正しくお使いいただくために	5
・ 各部の名称および標準付属品	10
・ 電源について	12
・ バッテリーについて	12
・ AC アダプターの使い方	17
・ 携帯機器の充電	18
・ 各操作ボタンについて	19
・ 電源ボタンの入れ方 / 切り方	19
・ 音量の調整	19
・ ラジオ機能	20
・ ラジオ放送を聞く	20
・ 自動選局	20
・ 手動選局	21
・ 放送局を登録して聞く（プリセット選局）	22
・ FM 放送受信時にノイズが聞こえる場合（ステレオ / モノラル切替）	22
・ 時計とアラーム機能	23
・ 時計の設定	23
・ アラームの設定	25
・ ラジオアラームおよびブザーアラームの停止と解除	27
・ スヌーズ機能	27
・ おやすみタイマー機能	28
・ オーディオ設定	29
・ ラウドネス機能	29
・ イコライザー機能	29
・ 外部入力について	31
・ AUX IN 入力端子への接続	31
・ マイク入力端子への接続	32
・ Bluetooth 機能	33
・ Bluetooth 機器とのペアリング	33
・ Bluetooth 機器の接続解除	34
・ Bluetooth 機器の登録情報を削除する	34
・ Bluetooth 機能（2 つのスピーカーで音楽を聞く）	35
・ スピーカーを接続する	35
・ 再生する	36
・ ダブル / ステレオモードを切り替える	36
・ True Wireless Stereo 機能を解除する	36
・ Bluetooth 機能（複数のスピーカーで音楽を聞く）	37
・ スピーカーを接続する	37
・ 再生する	39
・ スピーカー接続を解除する	39
・ 保守・点検について	40
・ 本製品のお手入れ	40
・ ご修理の際は	40

主要機能

主要機能		モデル	MR113
周波数帯域		FM：76 ~ 108MHz AM：522 ~ 1,710 kHz	
アンテナ		FM：アンテナ内蔵ハンドル AM：内蔵フェライトバーアンテナ	
スピーカー		左右：63.5 mm × 2 個 底面：101.6 mm × 1 個	
入力端子		AUX IN：ø3.5 mm MICROPHONE：ø6.3 mm	
実用最大出力		10.8 V：2 W × 2 + 10 W 14.4 V：3 W × 2 + 15 W 18 V：5 W × 2 + 25 W	
電源		スライド式バッテリー*：DC10.8 V、14.4 V、18 V バックアップ用乾電池：DC3 V (単3 乾電池 2 本) 家庭用電源：AC100 V、50/60 Hz (付属の AC アダプター使用)	
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V	
	出力電流	直流 2.4 A	
	形状	USB A タイプ	
Bluetooth	適合規格	Bluetooth Ver5.0	
	対応プロファイル	A2DP (SCMS-T 対応) /AVRCP	
	オーディオ コーデック	SBC	
	通信距離	通信保証距離：10 m 通信可能距離：30 m (使用環境によって異なる)	
	送信出力	Class2	
		True Wireless Stereo 対応	
本製品寸法		ハンドルを起こしたとき： 長さ 268 mm × 幅 164 mm × 高さ 437 mm ハンドルを倒したとき： 長さ 268 mm × 幅 164 mm × 高さ 295 mm	
質量 (バッテリー除く)		4.9 kg	

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

* 使用可能なバッテリーについては、4 ページの「一充電当たりの使用時間」を参照してください。

主要機能

—充電当たりの使用時間※ 1

バッテリーの種類・電圧			使用時間※ 2	
10.8 V	14.4 V	18 V	ラジオまたは AUX (外部入力)	Bluetooth +USB 充電
	BL1415		約 3.5 時間	約 0.7 時間
		BL1815	約 4.0 時間	約 1.0 時間
BL1015			約 6.0 時間	約 0.8 時間
	BL1415N		約 4.5 時間	約 0.9 時間
		BL1815N	約 5.0 時間	約 1.2 時間
		BL1820B	約 6.5 時間	約 1.6 時間
	BL1430		約 8.0 時間	約 1.6 時間
	BL1430B			
		BL1830	約 9.5 時間	約 2.3 時間
		BL1830B		
BL1040B			約 16 時間	約 2.1 時間
	BL1440		約 13 時間	約 2.5 時間
		BL1840	約 13 時間	約 3.2 時間
	BL1450		約 15 時間	約 3.0 時間
		BL1850	約 17 時間	約 4.2 時間
		BL1850B		
	BL1460B		約 17 時間	約 3.3 時間
		BL1860B	約 21 時間	約 5.0 時間

※ 1 使用時間は参考値です。バッテリーの充電状態や充電する携帯機器により異なります。(充電電流：2.4 A 時)

※ 2 JEITA 基準：電子情報技術産業協会基準（スピーカー出力合計：100 mW 時）

安全に正しくお使いいただくために

JPA033-1

- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	人が死亡または重傷などを負う恐れがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。
注	製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

 	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

電波法に基づく認証について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。

従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること。
- 本機に貼ってあるラベルの適合マークおよび認証番号を消すこと。

Bluetooth®

Bluetooth について

- Bluetooth とは、無許可で使用可能な2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標でありマキタはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth 対応機器が使用する2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、ほかの機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

付属の AC アダプターは日本国内専用です。



- ・ 付属の AC アダプターは、交流 100 V (AC100 V) の家庭用電源コンセントにつないでください。異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

マキタが指定した専用の AC アダプター以外は使用しない。



- ・ 改造した AC アダプターを使用しないでください。本製品の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。

充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿ったまたは濡れた場所で使用したり、充電したりしない。



- ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
- ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

内部にものや水などを入れない。



- ・ 金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐにアンテナが内蔵されているハンドルを倒して収納する。



- ・ 落雷の原因となります。

AC アダプタープラグや電源プラグをぬれた手や油分などで汚れた手で抜き差ししない。



- ・ 感電の原因となります。

電源プラグがコンセントに差し込まれたまま、AC アダプタープラグを本製品から取りはずして放置しない。



- ・ 通電したままの AC アダプタープラグを子供などが口にくわえたりすると感電の原因となります。

電源プラグ、コードや AC アダプタープラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、ショート、発火の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いをするなどの異常な状態に気がついたときは…



- ・ 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーをはずし、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。



- ・ バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。



- ・ バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。



- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。



- ・ 液晶画面が破損した場合、液晶（液体）が漏れ出す可能性があります。液晶を吸い込んだり、口に入れたりしないでください。中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

マキタが指定した専用バッテリー以外を使わない。



- ・ 改造したバッテリー(分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む)を使用しないでください。工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。

バッテリーは、火への投入、加熱をしない。



- ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

バッテリーは専用充電器以外では充電しない。



- ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、火災の恐れがあります。

USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させない。（USB 電源端子装備モデルのみ）



- ・ 針、針金が USB 電源端子部に入ると短絡（ショート）し、発火、発煙の恐れがあります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。



- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火、発煙の原因になる恐れがあります。

使用しない充電式製品、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管する。



- ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
- ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。（バッテリーカバー付きの場合）

子供に充電式製品、充電器およびバッテリーで遊ばせない。



- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

本機を持ち運ぶときは、落とさないようにハンドルを握るなど、しっかり保持する。



- ・ 破損や故障の原因となります。

電源プラグがコンセントに差し込まれたまま、AC アダプタープラグを抜かない。



- ・ 感電の恐れがあります。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない。



- ・ 落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気があたるような場所に置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹き付ける所や、極端に寒い場所に置かない。



- ・ 露が付き、漏電・焼損の原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注意

密閉した自動車内など、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使い方をしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液漏れをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。



- ・ 新しい乾電池と1度でも使用した乾電池を一緒に使用しない。
- ・ 金属小物（かぎ、コイン、装飾品ネックレスなど）と一緒にポケットやかばんなどに入れない。
- ・ 加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない。
- ・ 分解しない。
- ・ ハンダ付けしない。
- ・ 端子をショート（短絡）させない。
- ・ 種類のちがう乾電池を一緒に使用しない。
- ・ しばらく使わないときは、取り出しておく。
- ・ 乾電池のプラスとマイナスの向きを、表示どおり正しく入れてください。
- ・ もし、液がもれた場合は、乾電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- ・ 万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ 本機は乾いた布で拭いてください。ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 付属品はマキタ純正品を使用してください。故障の原因となります。



- ・ 雷が鳴ったり、長期間使用しない場合には、電源から電源プラグを抜いてください。感電や火災の原因になります。



- ・ バッテリーを、周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発火、発煙の恐れがあります。

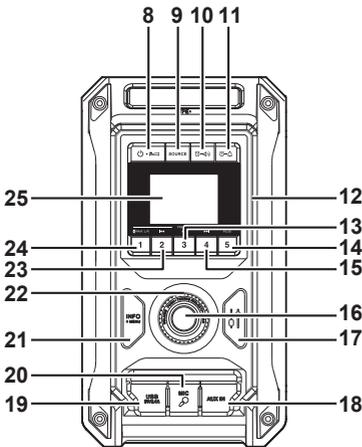
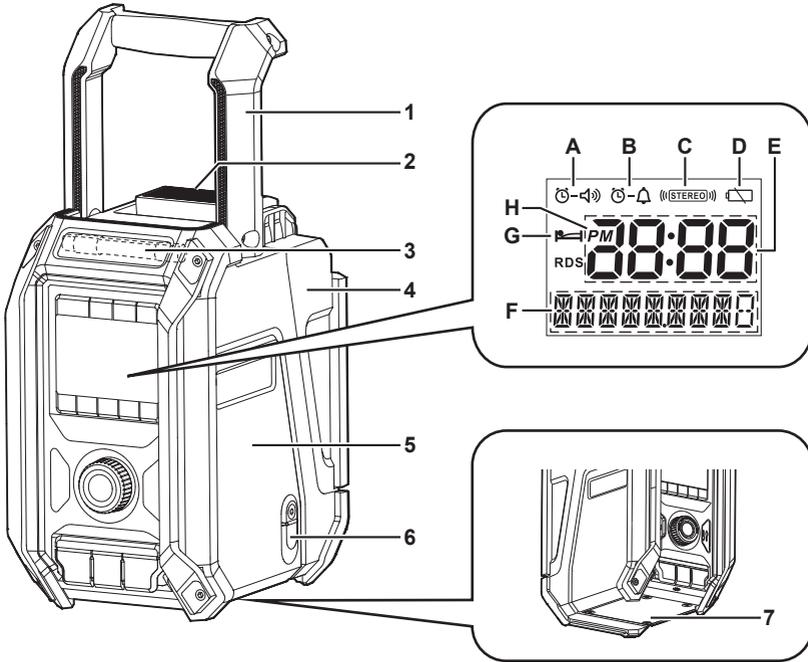


- ・ バッテリーを着脱するときは、バッテリーを落下させないように注意してください。けがの原因になります。

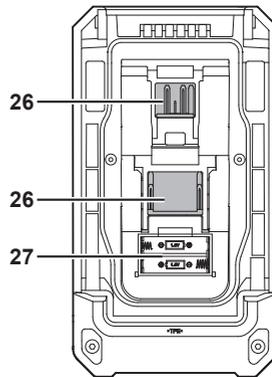


- ・ 落としたり、損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

各部の名称および標準付属品



[正面]



[裏面-バッテリー収納カバー開口時]

各部の名称および標準付属品

操作部

1. ハンドル / 内蔵アンテナ (FM 放送受信用)
2. バッテリー収納カバー用ロック
3. 内蔵フェライトバーアンテナ (AM 放送受信用)
4. バッテリー収納カバー
5. スピーカー
6. AC アダプタージャック
7. サブウーハースピーカー
8. 電源・おやすみタイマーボタン
9. ソースボタン
10. ラジオアラームボタン
11. ブザーアラームボタン
12. LED 表示
13. プリセット 3 / 再生 / 一時停止ボタン
14. プリセット 5 / PLUS ボタン
15. プリセット 4 / 早送りボタン
16. 音量・選局ダイヤル
17. イコライザー設定ボタン
18. AUX IN 入力端子
19. USB 電源端子
20. マイク入力端子
21. メニュー / 情報ボタン
22. イコライザーモード LED 表示
23. プリセット 2 / 巻戻しボタン
24. プリセット 1 / Bluetooth PAIR ボタン / L/R ステレオ切り替えボタン
25. LCD 画面表示
26. バッテリー挿入口
27. バックアップ用乾電池収納部

表示部

- A. ラジオアラーム表示
- B. ブザーアラーム表示
- C. ステレオ表示
- D. バッテリー残容量不足表示
- E. 時刻表示
- F. 周波数表示
- G. おやすみタイマー
- H. PM 表示

標準付属品

- ・ ACアダプター (DC12 V 2.5 A)
- ・ バックアップ用乾電池 単3×2本

電源について

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。
ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却してから充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電して保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

電源について

バックアップ用乾電池の取り付け方

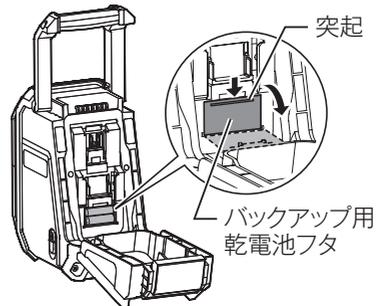
- ・ バッテリーやAC アダプターを抜いたときに、バックアップ用電池を入れておくと、登録や設定した内容を保持することができます。

注

- ・ バッテリー残容量不足表示  が表示され、“EMPTY” の文字が点滅表示し続ける状態になったらバックアップ用の乾電池を交換してください。
 - ・ バッテリー収納カバーを開閉するときは、指を挟まないようにしてください。
1. バッテリー収納カバー用ロックを①→②の順で操作し、バッテリー収納カバーを開きます。



2. バックアップ用乾電池フタの突起を下に押し込むようにして手前に開きます。
3. 乾電池のプラス・マイナス方向に注意して取り付け、フタを閉じます。



注

- ・ 乾電池のプラス・マイナス方向を間違えると、故障の原因になります。
4. バッテリー収納カバーを閉じてロックします。

電源について

スライド式バッテリーの取り付け、取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

注

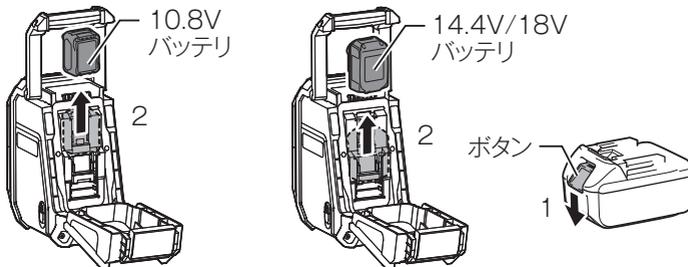
- ・ バッテリー収納カバーを開閉するときは、指を挟まないようにしてください。

1. バッテリー収納カバーを開きます。(13 ページ参照)
2. バッテリーの種類にあった取り付け部に奥まで挿入してください。
3. バッテリー収納カバーを閉じてロックします。



バッテリーを本製品から取りはずすときは、

1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
2. スライドさせると取りはずせます。

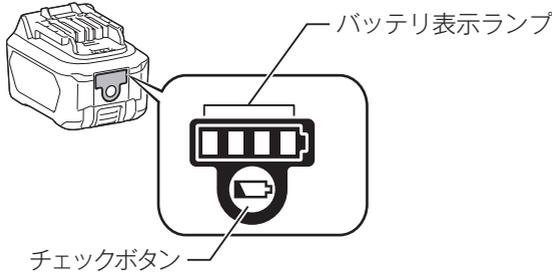


電源について

バッテリー残容量表示機能

- ・ モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。
- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。

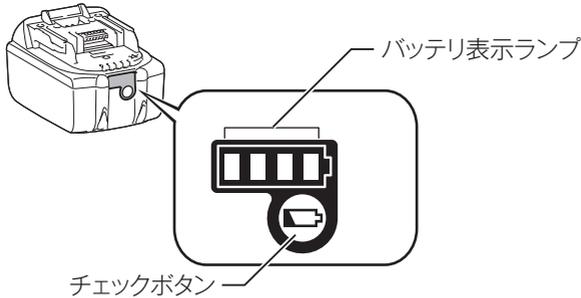
CXT バッテリー (10.8 V) の場合



バッテリー表示ランプ		バッテリー残容量
■ : 点灯	□ : 消灯	
■ ■ ■ ■		75 % - 100 %
■ ■ ■ □		50 % - 75 %
■ ■ □ □		25 % - 50 %
■ □ □ □		0 % - 25 %

電源について

14.4 V / 18 V バッテリーの場合



バッテリー表示ランプ		バッテリー残容量		
■:点灯	▨:点滅		□:消灯	
■	■	■	■	75 % - 100 %
■	■	■	□	50 % - 75 %
■	■	□	□	25 % - 50 %
■	□	□	□	0 % - 25 %
▨	□	□	□	充電してください。
■	■	□	□	バッテリーの異常です。
□	□	■	■	

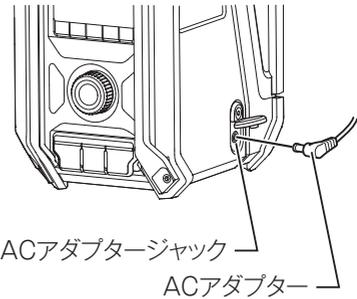
注

- 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- バッテリーは AC アダプターでは充電できません。
- ラジオの音が大きくなったり小さくなったりしたときやバッテリー残容量不足表示  と “POWERFAIL” が表示されたら充電したバッテリーと交換してください。

電源について

AC アダプターの使い方

1. ゴムカバーをめくり、AC アダプタージャックへ AC アダプタープラグをつなぎます。
2. AC アダプターの電源プラグを電源コンセントにつなぎます。



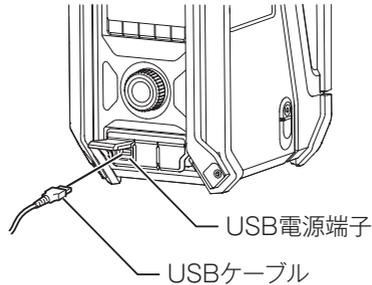
注

- AM 放送受信時には AC アダプターによって雑音などの影響がでることがあります。本製品を AC アダプターより 30 cm 以上離してください。
- AC アダプターを使用しているときは、バッテリーから給電しません。
- バッテリーは AC アダプターでは充電できません。
- 本製品を使用しないときは AC アダプターの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- AC アダプタープラグや電源プラグを取りはずすときは、コードを持たずに必ずプラグ自体を持って引き抜いてください。故障の原因になります。

電源について

携帯機器の充電

- ・ 本製品には前面にUSB電源端子があり、携帯機器などに充電ができます。
 - ・ バッテリ、ACアダプターのいずれを使用中でもUSB電源端子から充電することができます。
1. 外部機器（例：スマートフォンやポータブルオーディオ機器など）を市販のUSBケーブルで接続します。

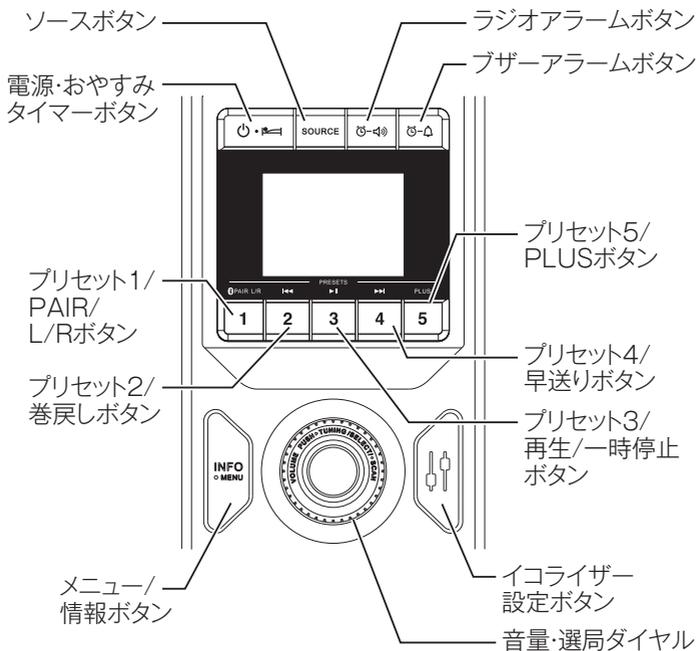


2. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
3. USB電源端子から携帯機器への充電がはじまります。ただし以下の条件では充電することはできません。
 - ・ 本製品の電源がOFFの場合
 - ・ 「AM」ラジオモードを選択している場合

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる携帯機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した携帯機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・ 携帯機器の種類によっては充電できない機種があります。
- ・ パソコンのUSB電源端子と接続しないでください。故障の原因になります。
- ・ 充電中はスピーカーからの音量レベルが低くなります。
- ・ バッテリーの消耗を防ぐため、充電完了後はUSB電源端子からUSBケーブルをはずしてください。

各操作ボタンについて



電源ボタンの入れ方 / 切り方

- 電源・おやすみタイマーボタン  を押しと電源が入り、各モードで動作中に押しと電源が切れます。

音量の調整

- 音量調整モード時は音量のレベルが表示されます。音量・選局ダイヤル  を時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

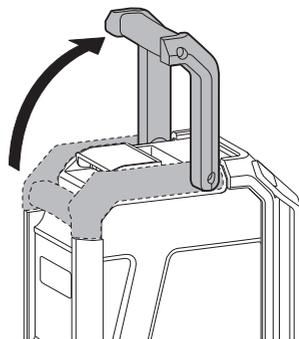
注

- 音量は上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ラジオ機能

● FM 放送を聞く場合

- ・ ハンドルにFMラジオ受信アンテナが内蔵されています。受信感度を上げるため、図のようにハンドルを立ててください。



● AM 放送を聞く場合

- ・ 内蔵のフェライトバーアンテナによって受信しますので、ハンドルを立てる必要はありません。

ラジオ放送を聞く

- ・ 自動選局、手動選局、登録（プリセット）選局の3通りの選局方法があります。

自動選局

1. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。本製品の向きを変えて受信しやすい位置にします。コンピュータ画面などのラジオに影響を与える機器の近くでは操作しないでください。
2. 音量・選局ダイヤル  を長押しすると、周波数の数字が変わり選局が始まります。電波の強い放送局だけを選んで自動的に受信します。
3. 受信時に  を押しと放送局が確定します。  を押さない場合、次の放送局を探し始めます。

注

- ・ 放送局を確定したあと  を回すと音量調整モードとなり、音量のレベルが表示されます。
 - ・ 音量調整モード時に  を押しと、手動選局モードに切り替わります。
4. 確定後、自動選局を再開する場合は、  を長押しします。

注

- ・ ステレオ放送を受信した場合は、ステレオマーク () が表示されます。(FM 放送のみ)
- ・ 音量調整の際、FM/AM 表示が点滅していないことを確認してください。FM/AM 表示が点滅している場合は、本製品は手動選局の状態です。

ラジオ機能

手動選局

1. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。本製品の向きを変えて受信しやすい位置にします。コンピュータ画面などのラジオに影響を与える機器の近くでは操作しないでください。
2. 音量・選局ダイヤル  を一度押して選局モード (FM・AM 表示が点滅) にし、希望する放送局を受信するまで回します。  を回すと次の周波数刻みで変化します。

FM : 50 kHz (0.05 MHz)

AM : 9 kHz

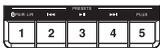
注

- 選局モード中は FM または AM 表示が約 10 秒点滅します。その間に何も操作しなければ自動的に選局モードが解除され、音量モードになります。
-  は音量調整モード時に押すと選局モードに、選局モード時に押すと音量モードになります。

ラジオ機能

放送局を登録して聞く（プリセット選局）

AM 放送、FM 放送は各々、5 局まで登録できます。

1. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。
2. 登録したい放送局を受信します。(自動選局、手動選局)
3. 登録したい放送局の周波数が表示されたら、プリセットボタン  (1 ~ 5 のどれか) を長押しし (2 秒以上)、登録します。ピッと音がして、選んだプリセットボタンの表示がされます。
例：FM 放送の 77.80Hz をプリセットボタン 3 に登録した場合
⇒ FM77.80P3
4. ほかの放送局を登録するには操作 2 ~ 3 を繰り返します。

注

- すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は上書きされます。

●登録した放送局を呼び出す

1. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。
2. プリセットボタン  (1 ~ 5) を押し、登録した放送局の周波数が表示されます。

FM 放送受信時にノイズが聞こえる場合(ステレオ/モノラル切替)

FM 放送を聞く場合、ノイズが聞こえることがあります。この場合、モノラルモード “FM MONO” で放送を聞くことによりノイズを減らすことができます。

1. FM 放送受信時に、メニュー/情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回すと、“FM AUTO” または “FM MONO” が表示されます。
3. “FM AUTO” 表示のとき、 を押し “AUTO” が点滅します。
4.  を回して “MONO” 表示にし、 を押しモノラルモードに設定します。

時計とアラーム機能

- ・ 時計とアラーム機能に関する設定は、電源の「入」「切」にかかわらず設定できますが、バックアップ用乾電池が装着されていないと設定できません。

時計の設定

時間表示の設定

- ・ 時間はスタンバイモードや再生モード時に表示画面に表示されます。時間表示は12時間と24時間の設定ができます。アラーム設定時にもその設定が使用されます。
1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
 2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“CLOCK ** H” を表示します。
 3.  を押して、“** H” が点滅したら、 を回して、12Hまたは24Hを選択します。
 4.  を押すと確定します。

時刻の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“CLOCK ADJ” を表示します。さらに  を押して設定モードにします。
3. 時表示が点滅します。
 を回して時(例: 00:00 → 12:00)を合わせてから押すと確定します。
4. 次に、分表示が点滅します。
 を回して分(例: 12:00 → 12:20)を合わせてから押すと確定します。

時計とアラーム機能

日時表示の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、日付（例：MON APR 4）が表示されたら、 を押します。
3.  を回して希望する表示を選択し、 を押して確定します。

年月日の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“DATE ADJ” を表示します。さらに  を押して設定モードにします。
3. 年表示が点滅します。
 を回して年（例：2000 1- 1 → 2019 1- 1）を合わせてから押すと確定します。
4. 次に、月表示が点滅します。
 を回して月（例：2019 1- 1 → 2019 6- 1）を合わせてから押すと確定します。
5. 次に、日表示が点滅します。
 を回して日（例：2019 6- 1 → 2019 6- 12）を合わせてから押すと確定します。

時計とアラーム機能

アラームの設定

ラジオアラームの設定

- ・ ラジオアラームを設定すると、設定した時刻にラジオ放送を聞くことができます。
 - ・ ラジオアラームは電源・おやすみタイマーボタン  を押さなければ、約1時間鳴り続けます。
1. ラジオアラームボタン  を長押しするとラジオアラームマーク  と時間表示が点滅します。(約 10 秒間)
 2. 点滅している間に、音量・選局ダイヤル  を回し、お望みの時間に合わせたあと、 を押すと時間が確定します。
 3. 次に分表示が点滅します、同様にして分を確定します。
 4. 次にアラームを鳴らす間隔を設定します。以下の表示から選択します。
ONCE：アラームが 1 回鳴ります。
DAILY：アラームが毎日鳴ります。
WEEKDAY：アラームは平日（月曜日～金曜日）に鳴ります。
WEEKEND：アラームは週末（土曜日・日曜日）に鳴ります。
アラーム間隔の表示が点滅します。 を回し、お望みの表示に合わせて、 を押すとアラーム間隔が確定します。
 5. FM・AM を選択します。FM が点滅しているところで、 を回し、FM・AM を確定します。
次に周波数が表示されますので、 を回してお望みの周波数に合わせ、 を押せば周波数が確定します。このときプリセットボタンでも周波数を合わせることができます。

注

- ・ 設定した周波数で受信できない場合、代わりにブザーが鳴ります。
6. 最後にアラームの音量を設定します。音量は“VOLUME 10”のように表示されますので、 を回しお望みの音量に合わせ、 を押すと確定します。
ラジオアラームが設定されていると、画面に  が表示されます。

時計とアラーム機能

ブザーアラームの設定

ブザーアラームが設定されると、設定した時刻にアラームが鳴り始めます。このアラーム音は次のサイクルで1時間繰り返します。

(①→②→③→②→③→・・・→③→②→アラーム音停止)

①：設定時刻で音がし始めます。

②：約1分間に4種類のアラームで鳴り続けます。

③：約1分間停止します。

1. ブザーアラームボタン  を長押しするとブザーアラームマーク  と時表示が点滅します。(約10秒間)
2. 点滅している間に、音量・選局ダイヤル  を回し、お望みの時間に合わせたあと、 を押すと時間が確定します。
3. 次に分表示が点滅します。同様にして分を確定します。
4. 最後にアラームを鳴らす間隔を設定します。以下の表示から選択します。
ONCE：アラームが1回鳴ります。
DAILY：アラームが毎日鳴ります。
WEEKDAY：アラームは平日(月曜日～金曜日)に鳴ります。
WEEKEND：アラームは週末(土曜日・日曜日)に鳴ります。
アラーム間隔の表示が点滅します。 を回し、お望みの表示に合わせ、 を押すとアラーム間隔が確定します。

注

- ・ブザーアラームを設定した場合、音量の設定はできません。
- ・ブザーアラームが設定されていると、画面に  が表示されます。
- ・アラームを設定する前に、必ず正しい時刻を設定してください。ラジオアラームおよびブザーアラームは、時刻を設定していない場合使用できません。
- ・アラーム設定中に約10秒間ボタンが押されない場合、自動的に設定モードが解除されます。

時計とアラーム機能

ラジオアラームおよびブザーアラームの停止と解除

●アラーム音を停止するには

- ・ 電源・おやすみタイマーボタン  を押します。

●アラーム設定を解除するには

- ・ ラジオアラーム設定を解除したい場合は、ラジオアラームボタン  を長押しします。
画面からラジオアラームマーク  が消えて設定が解除されます。
- ・ ブザーアラームが鳴る前に設定を解除したい場合は、ブザーアラームボタン  を長押しします。
画面からブザーアラームマーク  が消えて設定が解除されます。

スヌーズ機能

- ・ アラーム音が鳴っている間に電源・おやすみタイマーボタン  以外のボタンを押すとアラーム音が消えますが、5分後、再びアラーム音が鳴ります。(スヌーズ機能)
このとき、“SNOOZE”が表示されます。
1. スヌーズ機能の設定時間を変えるには、メニュー/情報ボタン  を長押しします。
 2. “SNOOZE **” の表示がされるまで音量・選局ダイヤル  を回します。
 3.  を押し、スヌーズ機能の時間設定モードに入ります。
 4. 時間は5分間隔で20分まで設定できます。 を回すと、SNOOZE 5、10、15、20と表示されますので、設定する時間表示になったら、 を押して確定します。
 5. アラームが中断している間に、 を押して電源が入ると、スヌーズが終了します。

時計とアラーム機能

おやすみタイマー機能

おやすみタイマーを設定すると設定した時間で電源を切ることができます。おやすみタイマーは、15分、30分、45分、60分、90分、120分の設定ができます。

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を長押しするとおやすみタイマー時間“SLEEP **”が画面に表示されます。
2. さらに  を長押し続けるとおやすみタイマーの設定時間（分）が60→45→30→15→120→90→60の順番で繰り返し表示されます。希望するおやすみ時間が表示されたら  を離します。おやすみタイマーマーク  が表示され、最後に設定した放送局が流れます。
3. おやすみタイマーの設定時間になると自動的に電源が切れます。
4. 解除するときは  を押します。おやすみタイマーマーク  が消え、本製品の電源が切れます。

オーディオ設定

ラウドネス機能

ラウドネス機能を働かせることにより、低音域から高音域まで音が聞きやすくなります。

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回し、“LOUD ON” または “LOUD OFF” 表示させます。
3. “LOUD OFF” ならば、 を押し、“OFF” を点滅させます。
4.  を回し、“LOUD ON” 表示にします。
5.  を押すと、“LOUD ON” 表示が確定し、ラウドネス機能が働きます。

イコライザー機能

音楽のジャンルに合わせて、プリセットされている6種類のモードを設定することができます。また自分の好みの音質に設定することもできます (MY EQ モード)。

選んだモードの種類によって、音量・選局ダイヤルの周囲に施されたLED表示がカラー点灯します。

1. イコライザー設定ボタン  を押して、設定モードに入ります。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、お望みのEQ (イコライザー) モードを表示させ、 を押して確定します。

● EQ モード概要とLED 表示色

EQ モード	LED 表示カラー	音質
FLAT	ホワイト	自然な音質を再現します。
JAZZ	ブルー	人の声の表現を強めにします。
ROCK	レッド	低音・高音を強めて、迫力ある音質が楽しめます。
CLASSIC	ブラウン	中音・高音を強めて、柔らかく爽やかな印象にします。
POP	ピンク	テンポのよい楽曲向けに高音を抑えて、聴きやすくします。
NEWS	イエロー	低音や高音の背景雑音を弱めて、人の声を強めます。
MY EQ	グリーン	聴き手の好みに合わせて、音質設定をカスタマイズします。

オーディオ設定

注

- ・ イコライザーで低音を強調した状態で音量を大きくすると、音割れや歪みが発生することがあります。この場合は、音量を調整してお聞きください。

● MY EQ モードの設定

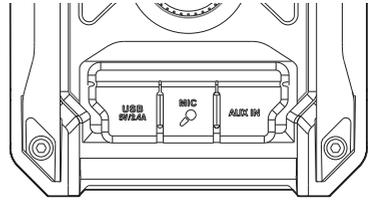
MY EQ モードにて低音、中音、高音を±6の範囲でカスタマイズでき、好みの音質をいつでも再現することができます。

1. イコライザー設定ボタン  を押して、設定モードに入ります。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“MY EQ” を表示させ、 を押します。
3. 音量・選局ダイヤル  を回して、低音“BASS”を設定して、 を押して確定します。
4. 音量・選局ダイヤル  を回して、中音“MIDDLE”を設定して、 を押して確定します。
5. 音量・選局ダイヤル  を回して、高音“TREBLE”を設定して、 を押して確定します。

外部入力について

AUX IN 入力端子への接続

- 本製品前面にはAUX IN入力端子があります。お手持ちの携帯機器などを接続することができます。



- 外部機器（例：スマートフォンやポータブルオーディオ機器など）のオーディオケーブルを AUX IN 入力端子に接続します。
- 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、本製品の電源を入れます。
- 外部機器の電源を入れます。
- “AUX IN” が表示されるまでソースボタン  を繰り返し押します。
- 外部機器および本製品の音量・選局ダイヤル  を回して音量調整をします。音質を高めるため、あらかじめ外部機器の音量を最大値の 2/3 以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。

注

- 外部機器を接続する際は、必ず本製品と外部機器の電源を切ってください。
- オーディオケーブルは同梱付属品として含まれていません。

外部入力について

マイク入力端子への接続

本製品前面にはマイク入力端子があります。マイクスピーカーとしてもご使用いただけます。

1. マイク（別売り）のケーブルを入力端子に接続します。
2. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
3. マイクの電源を入れます。
4. 音量・選局ダイヤル  を回して、お望みの音量へ調整します。

注

- ・ マイクをスピーカーの近くへ置いたり、スピーカーに向けて近づけないでください。フィードバック（ハウリング）が発生して、故障の原因となることがあります。

●マイク音量の調整

1. メニュー／情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“MIC VOL **”を表示します。さらに  を押して設定モードにします。
3. 音量・選局ダイヤル  を回して、お望みの音量へ調整して、 を押して確定します。

Bluetooth 機能

- ・ 本製品をBluetooth機器と接続して、音楽などをワイヤレスで再生することができます。

Bluetooth 機器とのペアリング

● Bluetooth 機器を登録して再生する

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モードを選びます。
“BT WAIT” を表示すると、数秒後に“BT PAIR”が表示され、“PAIR”が点滅します。
3. お手持ちの Bluetooth 機器の取扱説明書に従って、ペアリングができるようにします。
4. Bluetooth 機器のメニューに“MR113”が表示されたら選択します。
古いタイプの携帯電話の場合 (BT2.1 より古いバージョンの場合)、PINコード“0000”を入力する必要がある場合があります。
5. Bluetooth 機器と本製品がペアリングされます。
6. ペアリングが完了すると、“BLUETOOTH”が表示されたままになり、その後バックライトが約 10 秒以内に暗くなります。
7. Bluetooth 機器で再生する音楽を本製品のスピーカーで聞くことができます。

●登録済みの Bluetooth 機器を再生する

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モードを選びます。
“BT PAIR”が表示され、“PAIR”が点滅します。
3. お手持ちの Bluetooth 機器のメニューで“MR113”を選択して接続します。機器によっては自動的に接続されます。
4. Bluetooth 機器で再生する音楽を本製品のスピーカーで聞くことができます。

注

- ・ 本製品は最大 8 台までの Bluetooth 機器を登録できます。最大登録数を超えて登録すると、接続履歴が古いものから上書きされます。
- ・ 2 つの Bluetooth 機器が本製品を同時にサーチする場合、両方の機器に本製品がペアリング可能であると表示されます。
- ・ 一時的に Bluetooth 機器が本製品と切断されたとき、ペアリングから設定する必要があります。
- ・ もしお手持ちの Bluetooth 機器上に“MR113”が表示されていないながら接続ができない場合は、お手持ちの Bluetooth 機器のメニューから“MR113”を削除し、ペアリングから設定してください。
- ・ 本製品とペアリングされた機器の有効距離は約 10 m ですが、見通しが良ければ約 30 m まで通信可能です。
- ・ 本製品と Bluetooth 機器の間に障害物がある場合は有効距離は短くなります。
- ・ 音質を高めるため、あらかじめ Bluetooth 機器の音量を最大値の 2/3 以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。
- ・ ペアリングが完了すると、Bluetooth 機器にて再生や停止を含めた選曲操作ができます。また本製品の操作ボタンを使って、選曲操作をすることもできます。

Bluetooth 機器の接続解除

- ・ Bluetooth 機器の接続を解除するには、PAIR ボタン  を 2-3 秒押し続けてください。
“BLUETOOTH” がディスプレイから消えます。また“BT PAIR”が表示され、“PAIR”が点滅することで、Bluetooth がオフになったことを示します。
- ・ ソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モード以外のモードへ切り替えることでも接続を解除することができます。

Bluetooth 機器の登録情報を削除する

- ・ 本製品に登録されている Bluetooth 機器の情報を削除するには、PAIR ボタン  を 5 秒以上長押しします。
“CLEARING”が表示され、すべての登録情報がリセットされます。

Bluetooth 機能（2つのスピーカーで音楽を聞く）

- ・ True Wireless Stereo機能を使って、本製品2台をワイヤレススピーカーとしてBluetooth機器に接続し、音楽を聞くことができます。



スピーカーを接続する

● 1台目のスピーカーを Bluetooth 機器と接続する

1. はじめに接続するスピーカーと Bluetooth 機器をペアリングします。詳細手順は 33 ページの「● Bluetooth 機器を登録して再生する」を参照してください。
2. PLUS ボタン  を押して、“ST/MULTI” を表示します。“ST” が点滅します。
3. PLUS ボタン  を押して、“ST PAIR” モードに入ります。“PAIR” が点滅します。
 (“ST” が点滅した後に約 10 秒間操作しなければ、自動的に “ST PAIR” モードに入ります。)
4. “PAIR” 表示は 1 分間点滅します。表示点滅中に 2 台目のスピーカーを接続することができます。

● 2台目のスピーカーを接続する

1. 2 台目のスピーカーのソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モードを選びます。
 “BT PAIR” が表示され、“PAIR” が点滅します。
2. PLUS ボタン  を押して、“ST/MULTI” を表示します。“ST” が点滅します。
3. PLUS ボタン  を押して、“ST PAIR” モードに入ります。このとき 1 台目のスピーカーが “ST PAIR” モード (“PAIR” 点滅中) であれば、自動的に 2 台のスピーカーをペアリングします。
 (“ST” が点滅した後に約 10 秒間操作しなければ、自動的に “ST PAIR” モードに入ります。)
4. 接続が完了すると、2 台のスピーカーに “L-ST-R” が表示されます。

Bluetooth 機能（2つのスピーカーで音楽を聞く）

注

- ・ 接続が完了するとイコライザー設定は“FLAT”モード（初期設定）へ戻ります。
- ・ 2台目のスピーカーは、1台目のスピーカーを“ST PAIR”モードに設定した後、1分以内に接続してください。1分を超えると、1台目のスピーカーの“ST PAIR”モードがキャンセルされます。その場合は、再度1台目のスピーカーを“ST PAIR”モードにしてやり直してください。

再生する

- ・ 本製品と接続しているBluetooth機器を使って音楽を再生できます。

注

- ・ 2台のスピーカーのいずれかで調整した音量とイコライザーの設定値は、もう1台のスピーカーへも自動的に引き継がれます。
- ・ 音質を高めるため、あらかじめBluetooth機器の音量を最大値の2/3以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。
- ・ Bluetooth機器にて再生や停止を含めた選曲操作ができます。また本製品の操作ボタンを使って、選曲操作をすることもできます。
- ・ 2台のスピーカーのペアリング有効距離は約10mですが、見通しが良ければ約30mまで通信可能です。
- ・ 2台のスピーカーの間に障害物がある場合は有効距離は短くなります。

ダブル / ステレオモードを切り替える

- ・ Bluetooth接続された2台のスピーカーを、ダブルモードとステレオモードに切り替えて音楽を聴くことができます。
1. 接続された2台のスピーカーのいずれかの操作パネルを使って、L/Rボタン  を押します。
 2. L/Rボタン  を押して、“L-ST-R”、“L-ST-L”、“R-ST-R”のいずれかを選択します。
L-ST-R：2台のスピーカーから同じ音を再生します。（ダブルモード）
L-ST-L および R-ST-R：2台のスピーカーから左右それぞれの音声チャンネルを再生します。いずれかのスピーカーが“L-ST-L”モードの場合、もう一方のスピーカーは自動的に“R-ST-R”モードとなります。
 3. 表示されたモードにて音楽が再生されます。

True Wireless Stereo 機能を解除する

- ・ True Wireless Stereo機能を解除するには、PLUSボタン  を長押しします。

Bluetooth 機能（複数のスピーカーで音楽を聞く）

- Bluetooth接続により、最大10台までのスピーカーをダブルモードで接続することができます。複数のスピーカーをワイヤレスで接続すれば、広い空間でも明確で迫力ある音声を届けることができます。



スピーカーを接続する

●親機スピーカーを接続する

- 親機とするスピーカーと Bluetooth 機器をペアリングします。詳細手順は 33 ページの「●Bluetooth 機器を登録して再生する」を参照してください。
- PLUS ボタン  を押して、“ST/MULTI” を表示したら、L/R ボタン  を押して、“MULTI” を選択します。
“MULTI” が点滅します。
- PLUS ボタン  を押して、“MUL PAIR” モードに入ります。
（“MULTI” が点滅した後に約 10 秒間操作しなければ、自動的に“MUL PAIR” モードに入ります。）
- “PAIR” 表示は 1 分間点滅します。表示点滅中に子機スピーカーを接続することができます。

●子機スピーカーを接続する

- 子機とするすべてのスピーカーのソースボタン  を押して BT (Bluetooth) モードを選びます。
- PLUS ボタン  を押して、“ST/MULTI” を表示したら、L/R ボタン  を押して、“MULTI” を選択します。
“MULTI” が点滅します。
- PLUS ボタン  を押して、“MUL PAIR” モードに入ります。このとき親機スピーカーが“MUL PAIR”モード（“PAIR”点滅中）であれば、自動的に親機と子機をペアリングします。
（“MULTI” が点滅した後に約 10 秒間操作しなければ、自動的に“MUL PAIR”モードに入ります。）

Bluetooth 機能（複数のスピーカーで音楽を聞く）

4. 接続が完了すると、親機スピーカーに“MASTER”、子機スピーカーに“SLAVE” がそれぞれ表示されます。

注

- 接続が完了するとすべてのスピーカーのイコライザー設定は“FLAT”モード（初期設定）へ戻ります。
- 子機スピーカーは、親機スピーカーを“MUL PAIR”モードに設定した後、1分以内に接続してください。1分を超えると、親機スピーカーの“MUL PAIR”モードがキャンセルされます。その場合は、再度親機スピーカーを“MUL PAIR”モードにしてやり直してください。

●子機スピーカーを追加接続する

- 子機スピーカーは、最大10台まで必要に応じていつでも追加接続することができます。
1. 追加する子機スピーカーのソースボタン  を押して BT（Bluetooth）モードを選びます。
 2. 親機スピーカーの PLUS ボタン  を押して、“MUL ADD” を表示します。
“ADD” が点滅します。
 3. 追加する子機スピーカーを“MUL PAIR”モードにします。
詳細手順は 37 ページの「●子機スピーカーを接続する」を参照してください。
 4. 接続が完了すると、子機スピーカーに“SLAVE”が表示されます。

注

- 接続が完了すると追加した子機スピーカーのイコライザー設定は“FLAT”モード（初期設定）へ戻ります。
- 子機スピーカーの追加接続は、親機スピーカーを“MUL ADD”モードに設定した後、1分以内に行ってください。1分を超えると、親機スピーカーの“MUL ADD”モードがキャンセルされます。その場合は、再度親機スピーカーを“MUL ADD”モードにしてやり直してください。（すでに接続が完了している子機スピーカーは再接続不要です。）

Bluetooth 機能（複数のスピーカーで音楽を聞く）

再生する

本製品と接続している Bluetooth 機器を使って音楽を再生できます。

注

- ・ 親機スピーカーで調整した音量とイコライザーの設定（MY EQ を除く）は、子機スピーカーへ自動的に同期されます。子機スピーカーの音量やイコライザーを個別に調整したい場合は、それぞれの子機にて調整してください。
- ・ 音質を高めるため、あらかじめ Bluetooth 機器の音量を最大値の 2/3 以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。
- ・ Bluetooth 機器にて再生や停止を含めた選曲操作ができます。また親機の操作ボタンを使って、選曲操作をすることもできます。
- ・ 親機スピーカーと子機スピーカーのペアリング有効距離は約 10 m ですが、見通しが良ければ約 30 m まで通信可能です。
- ・ 親機スピーカーと子機スピーカーの間に障害物がある場合は有効距離は短くなります。

スピーカー接続を解除する

接続を解除したい子機の PLUS ボタン  を長押しします。

すべてのスピーカー接続を解除する場合は、親機の PLUS ボタン  を長押しします。

保守・点検について

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

MR113-MJ-1908
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)